

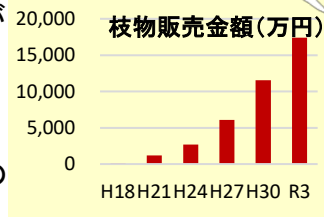
耕作放棄地に枝物を！ 四季を彩る奥久慈の枝物
～心が伝わる産地をめざして～

ひたちおおみやし
〔茨城県常陸大宮市、他〕

新規就農	企業参入	6次産業化	農地中間管理機構
農福連携	鳥獣害対策	地域・集落の共同活動	その他

1. 地域農業の状況

- JA常陸奥久慈枝物部会管内は、茨城県北西部の常陸大宮市、常陸太田市、大子町の3市町の中山間地にまたがる広域枝物産地である。
- 農業担い手の高齢化、耕作放棄地の増加が課題であった。
- H10年に「荒れた農地を何とかしたい」「花見山になれば」と、ハナモモを定植したことから始まり、地域内の知り合いから徐々に広がった。
- H17年には、出荷組織が立ち上がり市場出荷の体制を整え、R1年に茨城県花き銘柄産地に指定。
- R3年時点で、部会員130名、68.2ha、市場販売額1億7,400万円の多品目枝物産地となっている。



- 生産者の拡大
定年を控えた地元のサラリーマンを対象に、「年金＋α」を合言葉に作付けが拡大した。
近年では、若手新規就農者の参入もあり、専業経営体も育成されている。
- 地域内装飾
地元への枝物の理解促進を目的に各種イベントなどで、枝物を使った装飾を行っている。
- 全国高校生花いけバトル開催支援
高校生花いけバトルの花材提供を含めた開催支援を実施。若い世代への花育活動につながっている。
- 第6回ディスカバー農山漁村の宝選定



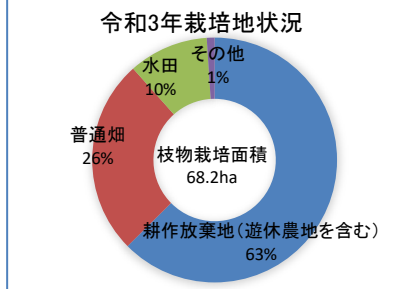
2. 地区概要

取組主体	J A 常陸奥久慈枝物部会	地区名	ひたちおおみやし 常陸大宮市、ひたちおおたし 常陸太田市、だいごまち 大子町
再生面積	42.8ha（遊休農地28.4ha含む）	取組年次	平成10年～
作付作物	枝物（ハナモモ、ヤナギ等）	販路	農協経由市場出荷

3. 取組内容及び効果

耕作放棄地の解消・集積と出荷体制の整備により、多品目枝物産地へ

- 耕作放棄地解消と機械整備
耕作放棄地再生利用緊急対策交付金や県・市町単独事業等を活用し、耕作放棄地のほ場整備（雑草・雑木の除去）、土壌改良を実施。作業は、部会員が共同で行った。また、枝物栽培に必要な乗用草刈り機や貯蔵施設等を整備した。



- 農地中間管理機構の活用
H29年に那賀地区において、農地中間管理機構を活用し、8haの農地の集積を図った。
- ハナモモ良品出荷の取り組み
H25年に強い農業づくり交付金を活用し、共同促成室を整備し、開花管理と出荷の一元管理を行っている。品質評価が高く、年々、出荷量が増えている。
- 市場対応の強化と周年多品目産地へ
周年で季節の枝物を出荷することで、市場から信頼される産地となった。



活用した支援策	H21～30 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金（国） H25 強い農業づくり交付金（国）
---------	---